

## ミニ白菜（めんこい）の栽培

### ◇播種～育苗のポイント

発芽揃いまでは、高温と乾燥に注意しましょう。

栽植本数は、約 8,500 株／10a 程度

直播：200m<sup>2</sup> 前後／（1穴 2～3粒まき）

育苗：80～100m<sup>2</sup>／10a

8月	9月	10月	11月
●	▲	■	■
●	▲		■

1 2 4穴発泡スチロールまたは、1 2 8穴セルトレイを使用しましょう。播種して約3～4日で発芽します。育苗中のかん水は晴天日の午前中～昼頃に行いましょう。但し、午後3時以降のかん水は、徒長苗や病害の発生を助長するので避けましょう。

白菜栽培はいかにして広く深く「健全な根を張らせるか」が最大のポイントです。根圏を確保するための土作りを行いましょう！！（有機質肥料の投入、過湿・過乾燥対策など）

### ◇圃場の準備

- 排水良好な圃場を選び、排水対策を必ずしてください。
- 石灰や堆肥、化学肥料などの元肥は定植の20日位前に施し、肥料分を分解促進させておきます。
- 微量要素欠乏対策として、「BMようりん」「硼酸塩肥料48」等を施用するとよいでしょう
- 施肥例（10a当たり）

肥料名	基 肥
完熟堆肥	1～2 t
苦土石灰	100 kg
CDUたまご化成	100 kg
粒状BMようりん	20 kg
硼酸塩肥料48	1～1.5 kg



### ◇栽植本数

ミニ白菜は密植が原則です。

単条：うね幅 60 cm 株間 20 cm

複条：うね幅 120 cm 株間 20 cm・条間 35 cm（約8,500株／10a）

◇追肥・中耕…作付け後 10 日～2 週間頃から様子を見て行ってください。

- 追肥は 1 回当たり窒素成分で 4～5 kg/10a 程度施します。(燐硝安加理 S604 の場合は、10 kg/10a 位)
- 中耕は表土を膨軟にして通気性を良くし、根の伸長を促進すると同時に追肥効果を高め、雑草の防除にもなります。

◇作付け後の管理

- 直播の場合、本葉 2～3 の頃に間引きを行いましょう。
- 播種後または、定植後に圃場を見回り、欠株があれば補植して下さい。  
※補植用の苗を予め作ると良いでしょう。密植しないと大球になります。

◇生理障害対策

- ゴマ症…主に多肥と獲り遅れによる過熟により発生するので極端な多肥は避け、適期収穫を心がけましょう。
- カルシウム欠乏(芯腐れ症、縁腐れ症)  
…主に乾燥と多肥により発生します。また、湿害による根痛みも原因となります。硫酸カルシウム資材(畑のカルシウム)の元肥施用や結球開始期にカルシウム剤の葉面散布を行うことで発生を抑制することが出来ます。

◇病虫害対策…CR 品種ではありません。根こぶ病の汚染圃場では注意が必要です。(ネビシン粉剤など)

- 播種後～生育初期：ネキリムシ、アブラムシ類など(ネキリトン、エルサン乳剤など)  
軟腐病、べと病など(ダコニール 1000)
- 結球開始期：コナガ、ヨトウムシ類など(プリンスフロアブルなど)  
べと病、白斑病、黒斑病など(ランマンフロアブルなど)
- 結球後期～収穫期：コナガ、アオムシ、ヨトウムシ類など(ハクサップ水和剤(収穫前日まで)など)  
べと病、尻腐れ病、菌核病、軟腐病など(バリダシン液剤5(収穫3日前まで))

病虫害は大発生してからの防除は困難です。適切な時期に効果的な薬剤で、予防的に防除してください。

◇収穫

ミニ白菜は基本的に早生品種です。そのため、収穫期の幅が短く、獲り遅れによる過結球や品質低下が多く見られます。8分結球程度からの収穫開始を徹底しましょう。